

2. 加西市歴史年表

表 30 加西市歴史年表（1 / 4）

時代	西暦	元号	日本	加西市
旧石器時代	BC8000			亀ノ倉遺跡（豊倉）でナイフ形石器・細石器・搔器等が出土する。
縄文時代	300		稲作・金属器の使用が始まる	岡田遺跡（谷・西谷町）で多量の石器が製作される。
弥生時代	AD100		卑弥呼が魏に使いを送る	野間遺跡（中富町）で木棺墓等がつくられる。
	300			長塚遺跡（上宮木・豊倉）で大規模な集落が営まれる。
古墳時代	400			小谷遺跡（小谷）で、大規模な集落が営まれる。 周遍寺山1号墳（網引）で四隅突出墓が築造される。
	500			玉丘古墳群（北条・玉丘・笹倉・玉野）が築造され始める。 亀山古墳（笹倉）が築造される。 この頃から市内各地に古墳が築造される。
飛鳥時代	538		仏教が伝わる	後藤山古墳（倉谷）・愛染古墳（佐谷）が築造される。
	645	大化元年	大化の改新	殿原・繁昌・吸谷に寺院が建立される。 古法華石仏・乎疑原神社石造五尊像がつくられる。
奈良時代	710	和銅3年	都が平城京に遷される	
	715	霊亀元年		『播磨国風土記』がつけられる。
	734	天平6年		賀茂既多寺で『大智度論』の写経が行われる。
	752	天平勝宝4年	東大寺大仏が建立される	
				野条に寺院が建立される。
平安時代	794	延暦13年	都が平安京に遷される	
	1059	康平2年		賀茂郡、東・西に分郡される。
	1161 ～1163	応保年間		酒見社（住吉神社・酒見寺）で播磨六カ寺（一乗寺・普光寺・圓教寺・随願寺・神積寺・八葉寺）による酒見講が始まる。 池大納言平頼盛が在田荘を賜る。
	1171	承安元年		一乗寺三重塔が建立される。
	1180	治承4年	源平の争乱がおこる	
	1185	文治元年	平家が滅ぶ	この頃、江ノ上経塚がつけられる。
鎌倉時代	1221	承久3年	承久の乱	在田荘が池家から没収される。
	1283	弘安6年		慈眼寺境内に石造塔婆が建立される。
	1316	正和5年		一乗寺に石造笠塔婆が建立される。
	1321	元享元年		一乗寺に石造五輪塔が建立される。
	1327	嘉暦2年		清慶寺境内に石造宝篋印塔が建立される。
	1333	元弘3年	鎌倉幕府が滅ぶ	護良親王が西河合荘を河内金剛寺へ寄進する。 後醍醐天皇が一乗寺へ行幸する。
	1336	建武3年		湊川の戦の際、足利軍が周遍寺に逗留する。

表 31 加西市歴史年表（2 / 4）

時代	西暦	元号	日本	加西市
室町時代	1338	延元 3 年	足利尊氏が京都に幕府を開く	
	1364	貞治 3 年		酒見寺の梵鐘を鋳る。
	1392	明德 3 年	南北朝統一	
	1395	応永 2 年		成田(安保)道成が須富荘北方地頭職を祇園社に寄進する。
	1420	応永 27 年		市余田代官に山下将監入道が任命される。
				室町時代から安土桃山時代にかけて、河内城・満久城・善坊山城・小谷城等が築造される。
	1441	嘉吉元年	嘉吉の乱	嘉吉の乱で赤松氏が滅ぶ。
	1457	長祿元年	長祿の変	中村氏らの活躍で、後南朝から神璽をとり返す。
	1467	応仁元年	応仁の乱	
	1496	明応 5 年		播磨守護赤松政則が坂田荘久斗寺にて死亡する。
				この頃、日吉神社七社立会神事が始まる。
	1539	天文 8 年		播磨守護赤松政村、西河合内の中村与次郎の所領を没収して、別府源三郎に与える。
1543	天文 12 年	鉄砲が伝わる		
安土・桃山時代	1572	元亀 3 年		この頃、石工作業所と推定される長塚遺跡(繁昌)が営まれる。
	1573	天正元年	室町幕府が滅ぶ	
	1578	天正 6 年		三木合戦が開始され、加西の土豪も三木城に詰める。
	1582	天正 10 年	本能寺の変	
	1585	天正 13 年	豊臣秀吉が全国を統一	
	1594	文祿 3 年		加西の蔵入米が秀吉の朝鮮出兵の経費にあてがわれる。
	1600	慶長 5 年	関ヶ原の戦い	池田輝政が姫路に入封し、播磨一国を領す。
江戸時代	1603	慶長 8 年	徳川家康が江戸に幕府を開く	
	1616	元和元年	大坂夏の陣	
	1620	元和 6 年		日吉神社の鳥居が建立される。
	1628	寛永 5 年		一乗寺本堂が再建される。
	1629	寛永 6 年		一乗寺鐘楼が再建される。
				この頃、鶉野台地の開墾が始まる。
				この頃、戦火で焼けた寺社の再建が始まる。
	1662	寛文 2 年		酒見寺多宝塔が建立される。
	1667	延宝 5 年		国正村より五領新田村が分村する。
	1681	延宝 9 年		高田六郎右衛門政恒、周遍寺を再興する。
	1684	貞享元年		網引八幡神社に能舞台が建立される。
	1685	貞享 2 年		青野村が鍛冶屋村より分村する。
				この頃、高室芝居が初演される。
	1695	元禄 8 年		「吉野文書」の筆録が始まる。
	1702	元禄 15 年	赤穂浪士討ち入り	
			この頃、奥村将監が磯崎神社(下道山)神宮寺に身を寄せる。	
1709	宝永 6 年		横田才ノ池の鐘堀り雨乞いの行事が始まる。	

表 32 加西市歴史年表（3 / 4）

時代	西暦	元号	日本	加西市
江戸時代	1716	享保元年	徳川吉宗の享保の改革	
	1717	享保 2 年		小印南村が田谷村より分村する。
	1723	享保 8 年		青野原新田の開発に着手する。
	1724	享保 9 年		任せ溝が完成する。
	1762	宝暦 12 年		天下溝が完成する。
	1787	天明 7 年	松平定信の寛政の改革	
	1814	文化 11 年		伊能忠敬が北条を通過する。
	1827	文政 10 年		各地の惣代が集まり、播磨国集會が開かれる。
	1841	天保 12 年	水野忠邦の天保の改革	
	1853	嘉永 6 年		徳岡天然が郡内で種痘を開始する。
	1867	慶応 3 年	大政奉還	
明治	1868	明治元年	明治維新	
		明治 12 年		加西郡が設置される。
	1887	明治 20 年		網引八幡神社に獅子舞が伝わる。
	1888	明治 21 年		町村制の導入により、郡内に 1 町 10 村が誕生する。 青野原に軍馬育成所を設置する。
	1889	明治 22 年		加西郡勸業会が設立される。
	1894	明治 27 年	日清戦争	
	1900	明治 33 年		加西郡立図書館が設立される。
	1903	明治 36 年		古坂トンネルが開通する。 横田村出身の松尾臣善が第 6 代日本銀行総裁に就任する。
	1904	明治 37 年	日露戦争	
	1907	明治 40 年		飯盛野疎水が通水する。
大正	1914	大正 3 年	第 1 次世界大戦	北条幼稚園が開園する。
	1915	大正 4 年		播州鉄道の粟生・北条町間が開通する。 青野原俘虜收容所を開設する。
	1918	大正 7 年		北条自動車株式会社によるバス事業が始まる。
	1919	大正 8 年		飯盛野に種羊牧場が開設される。
	1923	大正 12 年	関東大震災	播州鉄道を播丹鉄道に譲渡する。
昭和	1926	昭和元年		加西郡出身の大谷武一らがラジオ体操第一を作る。
	1937	昭和 12 年	満州事変	
	1941	昭和 16 年	太平洋戦争が始まる	
	1942	昭和 17 年		鶉野台地に姫路海軍航空隊設置につき工事始まる。
	1943	昭和 18 年		播丹鉄道を国が買収国有化する。 鶉野飛行場を開設する。
	1945	昭和 20 年	太平洋戦争が終結する	網引駅西方で飛行機事故により、列車転覆死者多数。
	1947	昭和 22 年		三洋電機製作所が北条で創業する。

表 33 加西市歴史年表（4 / 4）

時代	西暦	元号	日本	加西市
昭和	1950	昭和 25 年	文化財保護法の制定	
	1954	昭和 29 年		大和村が加西郡から分かれて多可郡八千代町へ。 芳田村が加西郡から分かれて西脇市へ。
	1955	昭和 30 年		北条町、富田村、賀茂村、下里村が合併して北条町となる。 多加野村、西在田村、在田村が合併して泉町となる。 九会村、富合村が合併して加西町となる。
	1967	昭和 42 年		北条町、加西町、泉町が合併して加西市となる。
	1976	昭和 51 年		兵庫県立フラワーセンターが開園する。
	1977	昭和 52 年		第 1 回加西サイサイまつりを開催する。
	1985	昭和 60 年		第 3 セクター方式による北条鉄道株式会社が開業する。
	平成	1992	平成 4 年	
1995		平成 7 年	阪神・淡路大震災	
2001		平成 13 年		玉丘史跡公園が完成する。
2011		平成 23 年	東日本大震災	
2012		平成 24 年		北条地区歴史的景観形成地区が指定される。
2015		平成 27 年		播磨国風土記 1300 年祭を開催する。 青野原俘虜収容所開設 100 周年事業を実施する。
2016		平成 28 年		鶴野飛行場跡地が国より払い下げられる。
2017		平成 29 年		古代鏡展示館（兵庫県立考古博物館加西分館）が開館する。
2018		平成 30 年		「加西市歴史文化基本構想」を策定する。